

報道提供資料

平成22年9月7日 17時

健康医療部保健医療室 地域保健感染症課

感染症グループ 梯・加藤

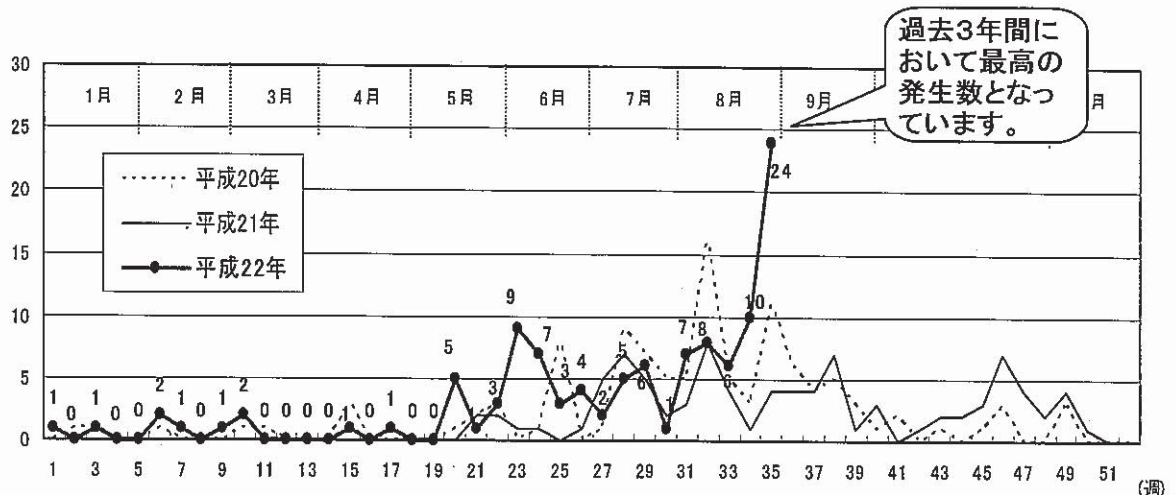
内線 2594 直通 06-6944-1142

## 腸管出血性大腸菌感染症発生状況 第14報 (訂正)

### 注意喚起の特別報

～9月に入ってから、O157の患者は増えています～  
～食肉の生食(生レバー・ユッケ等)はひかえましょう～

### ● 最近の発生状況



### ● O157等腸管出血性大腸菌感染を予防しましょう！！

#### (一次感染の予防方法)

「食肉の生食(生レバー・ユッケ等)とO157の発生は因果関係は高いといわれています。」

- ・肉類を調理する際は、調理器具、手指の洗浄・消毒を十分に行いましょう。
- ・肉類は、十分に中まで火を通しましょう。(中心部75℃、1分以上加熱しましょう)
- ・肉を焼くときは専用の取り箸を使い、口に入れないように注意しましょう。
- ・特に乳幼児や高齢者は、重症化しやすいことから、肉・レバーを生で食べないようにしましょう。

(参考:府 食の安全推進課ホームページ「食肉の生食にご用心」より)

<http://www.pref.osaka.jp/shokuhin/shokutyuudoku/niku.html>

#### (二次感染の予防方法)

- ・トイレの後、調理、食事の前に、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ・タオルの共用はやめましょう。
- ・下痢症状のあるときは、入浴の順番は最後にし、シャワーを使いましょう。
- ・下痢症状のあるときは、プールの使用はやめましょう。
- ・オムツ交換などでふん便を処理するときは、使い捨てのビニール手袋を使用するなど、直接手に触れないようにしましょう。処理したあとは、石けんで十分に手を洗いましょう。

● 患者等発生状況(単位:人)

	第31週 8/2 ~8/8	第32週 8/9 ~8/15	第33週 8/16 ~8/22	第34週 8/23 ~8/29	第35週 8/30 ~9/5	H22.1月~ 累計
無症状者	1	2	2	2	11	39
有症状者	6	6	4	8	13	72
HUS発症者数	0	0	0	0	2	2
合計	7	8	6	10	24	111

● 現在の入院者等(9月5日現在)

入院中患者数	4	名
HUS発症者数*	2	名

※ HUSとは、腸管出血性大腸菌が産生するペロ毒素によりひき起こされる溶血性尿毒症症候群のこと。小児や高齢者では痙攣、昏睡、脳症など重症化することがある。

● 第35週の発生状況

No	受理保健所	発症日	症状	発症者の概略	菌型	備考
1	吹田	8月18日	下痢、血便、嘔吐、発熱、腹痛、HUS	摂津市在住10歳女児	O157	入院中、回復傾向
2	岸和田	8月20日	溶血性貧血、急性腎不全、脳症、HUS	岸和田市在住77歳女性	O157	入院中、症状変化なし
3	枚方	8月22日	腹痛	枚方市在住16歳男性	O157	回復
4	八尾	8月24日	下痢、血便、腹痛	大阪市在住39歳女性	O157	回復
5	池田	8月25日	下痢、血便	箕面市在住80歳女性	O157	回復
6	茨木	8月25日	軟便、腹痛	茨木市在住13歳男性	O157	回復
7	藤井寺	8月26日	血便	藤井寺市在住4歳男児	O157	回復
8	藤井寺	8月26日	軟便、腹痛	藤井寺市在住5歳女児	O157	回復
9	守口	8月29日	下痢、血便、発熱、腹痛	守口市在住7歳女児	O157	回復
10	豊中	8月29日	下痢、血便	豊中市在住1歳女児	O157	回復
11	藤井寺	8月29日	血便	羽曳野市在住70歳女性	O157	入院中、回復傾向
12	守口	8月30日	下痢	守口市在住50歳男性	O157	回復傾向
13	寝屋川	9月1日	下痢、血便、腹痛	寝屋川市在住21歳男性	O157	入院中、回復傾向
14	豊中	-	症状なし	豊中市在住28歳男性	O157	
15	豊中	-	症状なし	豊中市在住6歳女児	O157	
16	豊中	-	症状なし	豊中市在住4歳女児	O157	
17	泉佐野	-	症状なし	泉佐野市在住65歳男性	O157	
18	泉佐野	-	症状なし	泉佐野市在住36歳男性	O157	
19	四條畷	-	症状なし	四條畷市在住19歳女性	O103	
20	四條畷	-	症状なし	交野市在住75歳男性	O103	
21	四條畷	-	症状なし	鹿児島市在住10歳女児	O103	
22	茨木	-	症状なし	茨木市在住30歳女性	O26	
23	池田	-	症状なし	箕面市在住87歳男性	O157	
24	池田	-	症状なし	箕面市在住48歳女性	O157	

食肉の生食にご注意

O157など腸管出血性大腸菌の感染者は昨年大阪府(大阪市、堺市、高槻市及び東大阪市を除く)で、91人でした。

発症する前の10日間に食べたものを調査したところ、40%の人が生レバーやユッケなどを食べていたことがわかりました。食肉類の生食とO157の発生とは因果関係が高いことから、生食用の表示のない食肉類は、十分な加熱を行って下さい。

特に子どもや高齢者は、感染すると重症になる場合があるため、食肉類の生食はさげましょう。

※ 発生事例のない週については、週報の提供は行いません。